



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井愉三
問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 堀内 亨（TEL）03（6432）9500
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期中間期	5,138	4.2	235	185.2	211	198.5	111	128.4
2024年9月期中間期	4,932	5.7	82	△69.0	70	△76.9	48	△74.5
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年9月期中間期	36.98		—					
2024年9月期中間期	16.24		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期中間期	3,447	2,029	58.9
2024年9月期	3,809	1,883	49.4

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 2,029百万円 2024年9月期 1,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,300	8.1	215	—	210	—	135	—	44.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期中間期	3,235,000株	2024年9月期	3,235,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	216,439株	2024年9月期	216,439株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年9月期中間期	3,018,561株	2024年9月期中間期	3,009,803株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などにより緩やかな回復基調での動きがみられるものの、インフレの継続や円安進行による物価上昇の影響は大きく、米国新政権の通商政策の動向、中国経済の先行き懸念などから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境下、当社は、クリスマス、バレンタインなどのイベントをはじめ、新企画や新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の販売に注力した結果、前年同期を上回る実績を達成しました。また、損益につきましては、円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、また、販売費及び一般管理費の削減により、前年同期を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
当中間会計期間	5,138,028	235,264	211,413	111,621
前中間会計期間	4,932,881	82,492	70,824	48,868
増減額	205,147	152,772	140,589	62,752
増減率(%)	4.2	185.2	198.5	128.4

売上高は、前年同期比205,147千円増(4.2%増)の5,138,028千円となりました。

これは、クリスマス、バレンタインなどのイベント関連商品の販売が前年同期を堅調に上回る水準で進捗したこと、ライフスタイル雑貨、ラッピング等の販売が好調に推移したことによるものです。

なお、当中間会計期間におけるライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、下表の通り、「ワンプライス商品」が4,765,540千円(前年同期比1.6%増)、「プチプライス商品」が372,487千円(前年同期比53.9%増)となり、「プチプライス商品」が大きく前年同期を上回りました。

(千円)

	ワンプライス商品	プチプライス商品	合計
当中間会計期間	4,765,540	372,487	5,138,028
前中間会計期間	4,690,774	242,106	4,932,881
増減額	74,766	130,380	205,147
増減率(%)	1.6	53.9	4.2

営業利益は、前年同期比152,772千円増(185.2%増)の235,264千円となりました。

これは、為替が円安に推移した影響や商品評価損の増加に伴う原価率の上昇がありましたが、売上高の増加による増益効果に加え、売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、販売費及び一般管理費の削減により、前年同期を大きく上回りました。

経常利益は、前年同期比140,589千円増(198.5%増)の211,413千円となりました。

営業外収支は、前中間会計期間には為替差損8,610千円を計上しましたが、当中間会計期間は為替差損20,203千円と増加したことにより、経常利益の増益幅は営業利益の増益幅に比べ縮小しました。

以上の結果、中間純利益は、前年同期比62,752千円増(128.4%増)の111,621千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は3,257,117千円となり、前事業年度末に比べ296,070千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が406,665千円増加、受取手形及び売掛金が40,313千円増加した一方、棚卸資産が745,419千円減少したことによるものです。固定資産は190,067千円となり、前事業年度末に比べ65,855千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が56,805千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、3,447,184千円となり、前事業年度末に比べ361,926千円減少いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は824,093千円となり、前事業年度末に比べ511,235千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が99,501千円増加した一方、買掛金が94,349千円減少、短期借入金300,000千円減少、未払金が55,053千円減少、その他流動負債が161,626千円減少したことによるものです。固定負債は594,075千円となり、前事業年度末に比べ3,770千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、1,418,169千円となり、前事業年度末に比べ507,464千円減少いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は2,029,015千円となり、前事業年度末に比べ145,538千円増加いたしました。これは主に中間純利益111,621千円がありましたが、配当金支払72,445千円により利益剰余金が39,175千円増加、繰延ヘッジ損益が106,363千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて9.5ポイント増加し、58.9%となりました。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前事業年度末に比べ406,665千円増加し、1,125,736千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動で獲得した資金は、801,155千円（前年同期は665,602千円の収入）となりました。これは主に売上債権が74,608千円増加、仕入債務が94,349千円減少、未払金が45,836千円減少しましたが、税引前中間純利益211,413千円、棚卸資産の減少745,419千円、法人税等の還付27,071千円等により大きく改善しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、17,399千円（前年同期は40,762千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,952千円、無形固定資産の取得による支出11,436千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、372,140千円（前年同期は472,795千円の支出）となりました。これは、短期借入金の返済による支出300,000千円、長期借入の実施による収入100,000千円、長期借入金の返済による支出99,799千円、配当金の支払額72,340千円によるものです。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月14日に公表いたしました2025年9月期の業績予想につきましては、現時点で変更はありません。なお、事業環境の変動等により、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	719,071	1,125,736
受取手形及び売掛金	675,099	715,412
電子記録債権	4,394	38,689
棚卸資産	2,056,949	1,311,530
その他	97,673	65,748
流動資産合計	3,553,187	3,257,117
固定資産		
有形固定資産	35,311	38,220
無形固定資産	73,212	61,252
投資その他の資産	147,399	90,594
固定資産合計	255,922	190,067
資産合計	3,809,110	3,447,184
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,683	73,333
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	199,599	199,599
未払金	435,892	380,838
未払法人税等	265	99,766
賞与引当金	18,742	19,035
その他	213,145	51,519
流動負債合計	1,335,328	824,093
固定負債		
長期借入金	300,666	300,866
退職給付引当金	35,303	38,873
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	590,305	594,075
負債合計	1,925,634	1,418,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,586	273,586
利益剰余金	1,835,707	1,874,882
自己株式	△141,766	△141,766
株主資本合計	2,004,746	2,043,922
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△121,270	△14,907
評価・換算差額等合計	△121,270	△14,907
純資産合計	1,883,476	2,029,015
負債純資産合計	3,809,110	3,447,184

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）	当中間会計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）
売上高	4,932,881	5,138,028
売上原価	3,345,410	3,497,896
売上総利益	1,587,470	1,640,131
販売費及び一般管理費	1,504,978	1,404,866
営業利益	82,492	235,264
営業外収益		
受取利息	2	173
助成金収入	871	—
還付加算金	411	166
受取ロイヤリティー	—	1,200
その他	248	146
営業外収益合計	1,532	1,687
営業外費用		
支払利息	3,530	4,106
為替差損	8,610	20,203
固定資産除却損	—	0
その他	1,059	1,228
営業外費用合計	13,200	25,538
経常利益	70,824	211,413
税引前中間純利益	70,824	211,413
法人税等	21,955	99,792
中間純利益	48,868	111,621

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）	当中間会計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	70,824	211,413
減価償却費	15,711	17,117
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,140	292
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,280	3,570
受取利息及び受取配当金	△2	△173
支払利息	3,530	4,106
為替差損益（△は益）	△1,131	4,950
助成金収入	△871	—
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額（△は増加）	△95,309	△74,608
棚卸資産の増減額（△は増加）	505,767	745,419
仕入債務の増減額（△は減少）	1,987	△94,349
未払金の増減額（△は減少）	128,489	△45,836
その他	70,434	6,113
小計	703,851	778,016
利息及び配当金の受取額	2	173
利息の支払額	△3,530	△4,106
助成金の受取額	871	—
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△35,591	27,071
営業活動によるキャッシュ・フロー	665,602	801,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,028	△5,952
無形固定資産の取得による支出	△36,733	△11,436
その他の支出	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,762	△17,399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△700,000	△300,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△16,600	△99,799
配当金の支払額	△71,793	△72,340
自己株式の売却による収入	15,598	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472,795	△372,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,131	△4,950
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	153,176	406,665
現金及び現金同等物の期首残高	876,207	719,071
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,029,383	1,125,736

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。